

市政 最前線

予算化された新たな事業

事業の途中経過

特集のその後

「都市計画マスタープラン」策定中 住み続けたいくなるまちに向けて

市では、市民と市が一緒に「住み続けたいくなるまち」をつくり上げていくため、現在、「都市計画マスタープラン全体構想」の策定作業を進めています。

市民のみなさんから多数のご意見

平成十一年三月に作成した「都市計画マスタープラン全体構想(素案)」を基に、平成十一年度には、二十三地区の市民センターでの市民懇談会や市内四力所での市民広聴会、各種団体(二十四団体)との懇談会などの場を通じて、市民のみなさんからたくさんのご意見をいただきました。

また、同年度に実施した市政アンケートでは、郊外の開



活発な意見が出された市民広聴会

発の必要性やこれからの交通手段のあり方など、市民のみなさんのご意向を把握することができました。この結果、まちづくりへの参加意識が高まることが分かりました。

市民円卓会議からも提言

このように、市民のみなさんのご意見・ご意向を伺う一方で、これらを市民の立場か

ら評価し、市長に提言する機関として、市民や学識経験者などで構成する「まちづくり市民円卓会議」を設置しました。そして、約一年半にわたって十八回に及ぶ会議を重ね、平成十二年十二月には、「都市計画マスタープランへの提言書」を市長に提出していただきました(提言書の内容は市のホームページに掲載されています)。

市議会でも議論を開始

その後、庁内関係部局との調整や専門的な行政データを基に議論を深め、平成十三年十一月に「既存の市街地を再活用しつつ、自然環境の保全を図ること」「市民の視点に立つたまちづくりを市民と市が協働で進めていくこと」を基本にした「全体構想(案)」を提案し、市議会でも議論を始めるところでした。

プロセスを重視したプランづくりに努めます

このように、プロセスを大切にしながらプランの策定作業を進め、今後、「全体構想(案)」の議会議決を経て、市民のみなさんに公表していきたいと考えています。

問い合わせ 都市計画課

(☎54・8194)



あなたの
こえ 声 こ
広聴のコーナー

ご意見・ご提案をお寄せください

あて先は
〒510-8601 市役所市民生活課 広聴係
TEL54-8147 FAX59-0284
四日市市公式ホームページ
<http://www.city.yokkaichi.mie.jp>
「市政への提案箱」へ
(住所・名前を明記してください)

各種審議会などへの公募委員の積極的な登用を

可能な範囲で順次導入していくよう努めます

ご意見 市には数多くの審議会などが設置されています。市民の市政参加という観点から、市民の参加がそぐわないもの以外については、積極的に公募委員を登用していただきたいと思えます。

(市政モニター・男性)

市の審議会、委員会などは法律、条例、規則などに基づいて設置され、平成十三年七月一日現在で百四十二件(休止中を含む)あります。このうち、可能な範囲で順次導入していく

のは、市政モニター会議、消費生活モニター会議、長寿社会づくり懇談会、美術展覧会運営審議会の四件で、このほかにも公募制の導入を検討しているものがあります。

審議会、委員会などの委員は、専門知識の必要性などの理由により、公募になじまないものも少なくありません。しかしながら、ご指摘のよう

に、市民の市政参加という観点からは公募委員の登用も重要な要素の一つであると認識しており、今後も引き続き可能な範囲で順次導入していく

市から

市民生活課

市民活動ファンドの助成団体が 活動内容を報告しました

市では、市内の公益的な市民活動を活発にするための助成制度として、平成十二年度から「四日市市民活動ファンド」を設けています。助成には、立ち上がり期助成（五十万円以内）と確立期助成（二百五十万円以内）があります。毎年三〜四月ごろにかけて助成事業を募集し、書類審査と公開のプレゼンテーションなどによって助成団体を決定しています。

十一月十七日、平成十三年度の助成対象となった団体がその助成金を元にしたような事業を行ったかを報告する中間報告会が開催されました。今回は、この報告会で報告された二つの事業をご紹介します。

立ち上がり期助成

・市民メディア入門講座事業（報告団体：クロスポイント）

「まちづくり」に関する情報を市民の視点から発信してい

くことを目的に、市民ディレクター養成講座」を開催しました。受講者は、元NHK放送記者などの講師から基礎的な講義を受けた後、「ゴミ問題など、それぞれのテーマに沿ってビデオを撮影。その映像を地元ケーブルテレビ局の機材で編集し、簡単なテレビ番組として完成させました。

確立期助成

・炭窯および夢工房整備事業（報告団体：NPO法人「PPK四日市」）

里山保全を目的に、山から伐採した竹を焼いて竹炭を作る事業を行っ

ています。この助成金を活用して「ものづくり夢工房」と名付けた炭焼き作業を行う小屋を建てました。この小屋は、

山の谷間にある休耕田を借りて、団体メンバー自らが建設したもので、将来的には、出来上がった竹炭を商品化していく予定です。

また、この「夢工房」を環境保全のための活動拠点と位置付けて地域の子どもや青少年にも集まってもらい、炭焼き作業の体験を通じて自然の大切さを実感してもらっています。

この市民活動ファンドは市民のみなさんの寄付金を原資としています。今後市内の市民活動団体を支援していくよう、みなさんのご協力をお願いします。

お問い合わせ 市民生活課（☎54・8117）

「NPO探検隊」研究発表会
「NPOマネージメント講座」の修了生が活動について発表します。 日時 2月3日(日) 午前10時～午後5時 場所 なや学習センター 参加料 無料
「NPOマネージメント」 中級特別講座
三重県NPO室の上田恭生さんによる「NPO法人設立手続き」の講義です。 日時 1月23日(水) 午後1時30分 場所 なや学習センター 受講料 無料
申し込み先 市民活動センター（☎50-0201）

よう努めていきたいと考えています。

総務課（市役所8階）☎54・8115

笑顔研修などにより市職員の一層の接遇向上を

信頼される職員となるよう、接遇研修の充実に努めます

ご要望

接客をする時は、笑顔が一番大切です。笑顔によって市役所に対する市民の印象が変わります。市でも、ぜひ笑顔研修を実施してほしいものです。（市政モニター・女性）

市から

市民のみなさんに気持ち良く来庁していただくためには、職員一人ひとりの接客マナーの向上が大切なことは言うまでもありません。こうしたことから、市では、これまでも職員に対してさまざまな接遇研修を実施してきました。

特に平成十二年度からは、企業におけるCS（Customer Satisfaction お客様満足）という考え方を取り入れ、「職場活性化・CS向上実践研修」を職員研修の大きな柱としています。これは、よりよい職場の風土づくりを目指すための研修で、職員一人ひとりが各職場の現状を「人の面」、「仕事の面」、「接遇の面」から診断分析し、CS向上のため

にどう取り組んでいくべきかを考え、実践していくというものです。

また、ご提案いただきました笑顔研修については、職場での研修や今年度の新規採用職員を対象とした接遇研修において、「表情トレーニング」、「ヴォイストレーニング」などとして実施したところです。

今後とも、市民のみなさんから信頼される職員となるよう、接遇研修などのさらなる充実に努めていきたいと考えています。

職員研修所（市役所11階）☎54・8128



電話を使った表情トレーニング（職員研修で）